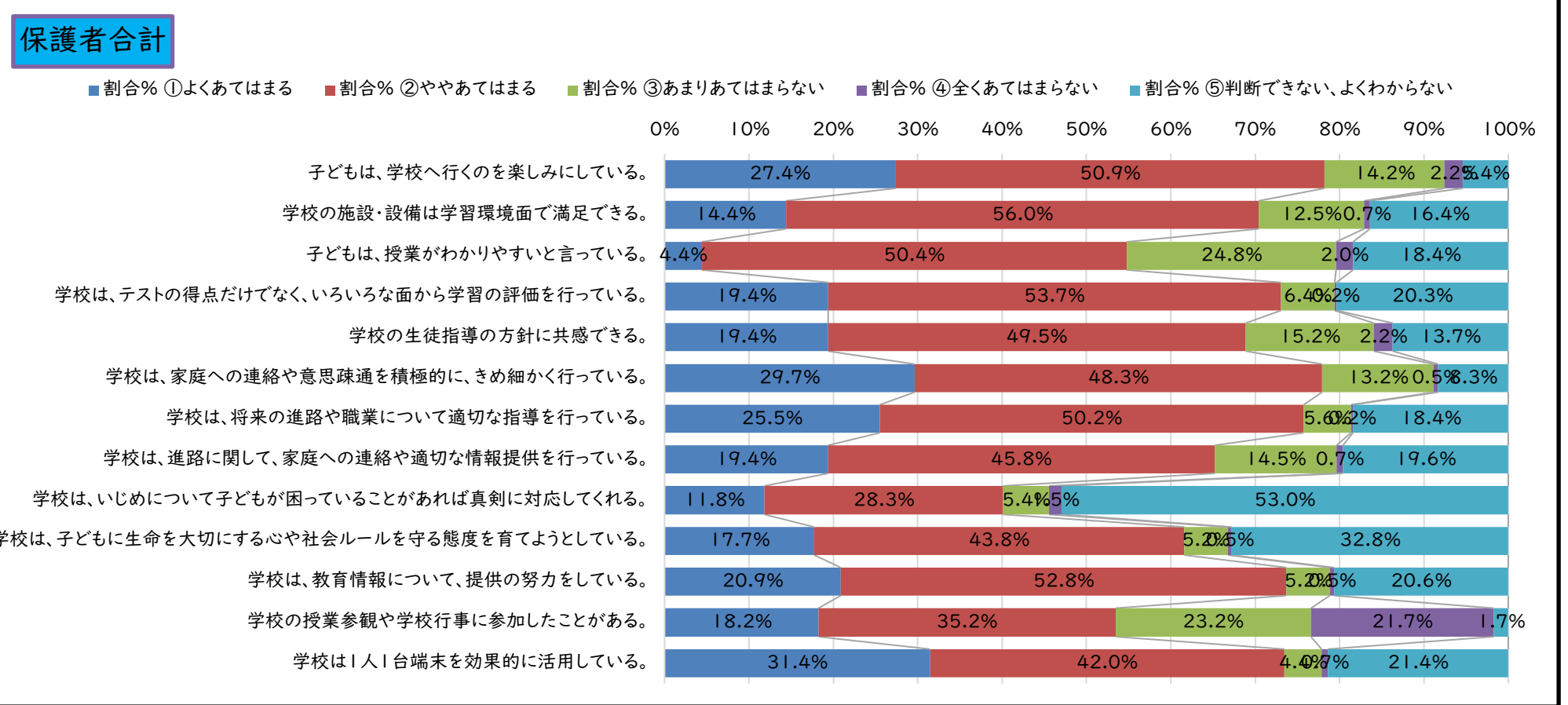


令和6年度(2024年度) 貝塚南高等学校 学校教育自己診断 集計結果

2024年12月6日~12月12日実施 生徒在籍数 675名 有効データ件数 409件 回答率 60.6%

2024年12月27日作成

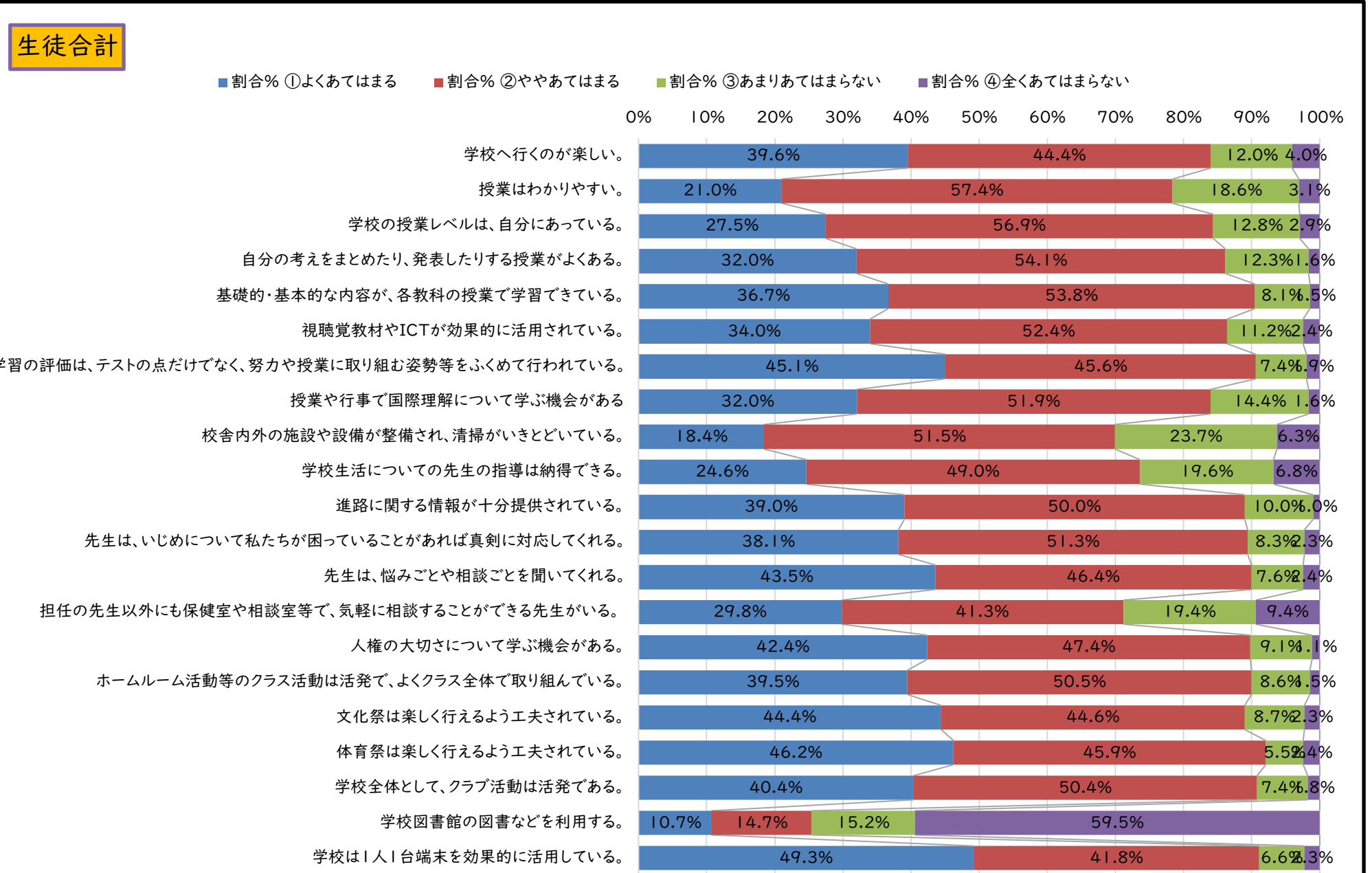
<保護者用集計>		割合					肯定的割合
合計		①よくあてはまる	②ややあてはまる	③あまりあてはまらない	④全くあてはまらない	⑤判断できない、よくわからない	①+②
①	1 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	27.4%	50.9%	14.2%	2.2%	5.4%	78.2%
①	2 学校の施設・設備は学習環境面で満足できる。	14.4%	56.0%	12.5%	0.7%	16.4%	70.4%
②	3 子どもは、授業がわかりやすいと言っている。	4.4%	50.4%	24.8%	2.0%	18.4%	54.8%
②	4 学校は、テストの得点だけでなく、いろいろな面から学習の評価を行っている。	19.4%	53.7%	6.4%	0.2%	20.3%	73.0%
③	5 学校の生徒指導の方針に共感できる。	19.4%	49.5%	15.2%	2.2%	13.7%	68.9%
③	6 学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に、きめ細かく行っている。	29.7%	48.3%	13.2%	0.5%	8.3%	77.9%
④	7 学校は、将来の進路や職業について適切な指導を行っている。	25.5%	50.2%	5.6%	0.2%	18.4%	75.7%
④	8 学校は、進路に関して、家庭への連絡や適切な情報提供を行っている。	19.4%	45.8%	14.5%	0.7%	19.6%	65.2%
⑤	9 学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	11.8%	28.3%	5.4%	1.5%	53.0%	40.1%
⑥	10 学校は、子どもに生命を大切にすることや社会ルールを守る態度を育てようとしている。	17.7%	43.8%	5.2%	0.5%	32.8%	61.6%
⑦	11 学校は、教育情報について、提供の努力をしている。	20.9%	52.8%	5.2%	0.5%	20.6%	73.7%
⑧	12 学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。	18.2%	35.2%	23.2%	21.7%	1.7%	53.4%
⑨	13 学校は1人1台端末を効果的に活用している。	31.4%	42.0%	4.4%	0.7%	21.4%	73.5%



令和6年度(2024年度) 貝塚南高等学校 学校教育自己診断 集計結果

2024年12月12日実施 生徒在籍数 675名 有効データ件数 619件 回答率 91.7%

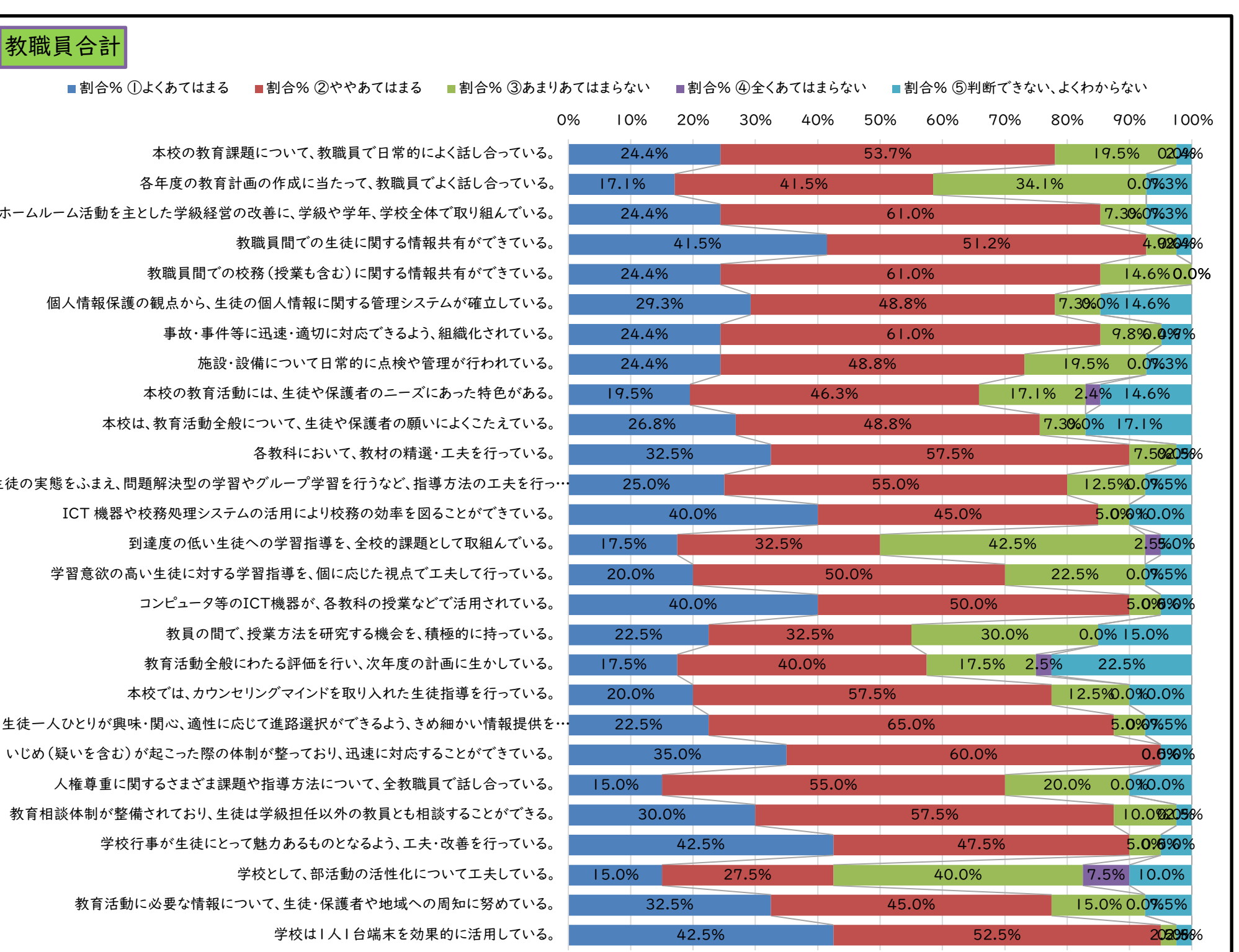
<生徒用集計>		割合					肯定的割合
合計		①よくあてはまる	②ややあてはまる	③あまりあてはまらない	④全くあてはまらない	⑤判断できない、よくわからない	①+②
①	1 学校へ行くのが楽しい。	39.6%	44.4%	12.0%	4.0%	84.0%	84.0%
①	2 授業はわかりやすい。	21.0%	57.4%	18.6%	3.1%	78.4%	78.4%
①	3 学校の授業レベルは、自分にあっている。	27.5%	56.9%	12.8%	2.9%	84.3%	84.3%
①	4 自分の考えをまとめる、発表したりする授業がよくある。	32.0%	54.1%	12.3%	1.6%	86.1%	86.1%
①	5 基礎的・基本的な内容が、各教科の授業で学習できている。	36.7%	53.8%	8.1%	1.5%	90.5%	90.5%
①	6 視聴覚教材やICTが効果的に活用されている。	34.0%	52.4%	11.2%	2.4%	86.4%	86.4%
①	7 学習の評価は、テストの点だけでなく、努力や授業に取り組む姿勢等をふくめて行われている。	45.1%	45.6%	7.4%	1.9%	90.6%	90.6%
①	8 授業や行事で国際理解について学ぶ機会がある。	32.0%	51.9%	14.4%	1.6%	84.0%	84.0%
①	9 校舎内外の施設や設備が整備され、清掃がいきとどいている。	18.4%	51.5%	23.7%	6.3%	70.0%	70.0%
②	10 学校生活についての先生の指導は納得できる。	24.6%	49.0%	19.6%	6.8%	73.6%	73.6%
②	11 進路に関する情報が十分提供されている。	39.0%	50.0%	10.0%	1.0%	89.0%	89.0%
②	12 先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	38.1%	51.3%	8.3%	2.3%	89.4%	89.4%
⑤	13 先生は、悩みごとや相談ごとを聞いてくれる。	43.5%	46.4%	7.6%	2.4%	90.0%	90.0%
⑤	14 担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる。	29.8%	41.3%	19.4%	9.4%	71.2%	71.2%
⑤	15 人権の大切さについて学ぶ機会がある。	42.4%	47.4%	9.1%	1.1%	89.8%	89.8%
⑥	16 ホームルーム活動等のクラス活動は活発で、よくクラス全体で取り組んでいる。	39.5%	50.5%	8.6%	1.5%	90.0%	90.0%
⑦	17 文化祭は楽しく行えるよう工夫されている。	44.4%	44.6%	8.7%	2.3%	89.0%	89.0%
⑦	18 体育祭は楽しく行えるよう工夫されている。	46.2%	45.9%	5.5%	2.4%	92.1%	92.1%
⑦	19 学校全体として、クラブ活動は活発である。	40.4%	50.4%	7.4%	1.8%	90.8%	90.8%
⑦	20 学校図書館の図書などを利用する。	10.7%	14.7%	15.2%	59.5%	25.4%	25.4%
⑧	21 学校は1人1台端末を効果的に活用している。	49.3%	41.8%	6.6%	2.3%	91.1%	91.1%



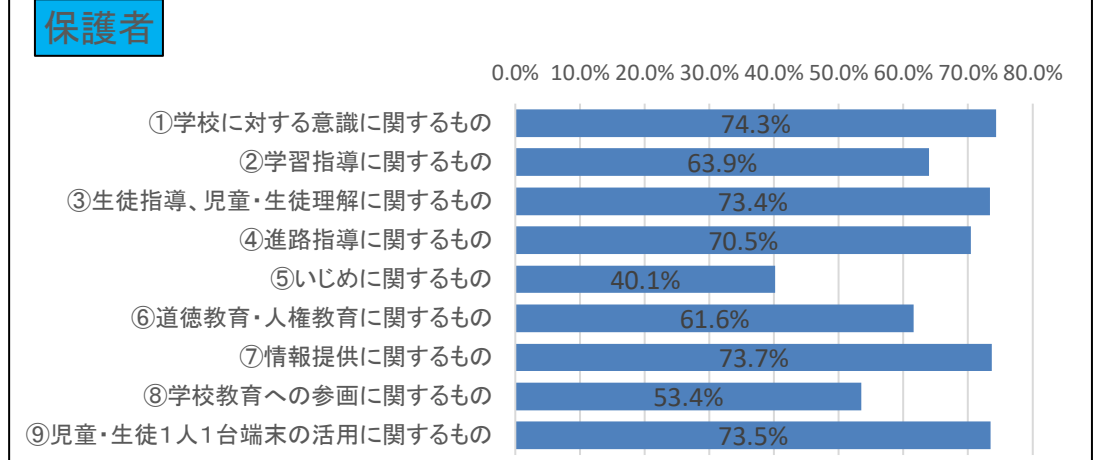
令和6年度(2024年度) 貝塚南高等学校 学校教育自己診断 集計結果

2024年12月6日~12月12日実施 対象教職員数(非常勤除く) 46名 有効データ件数 42件 回答率 91.3%

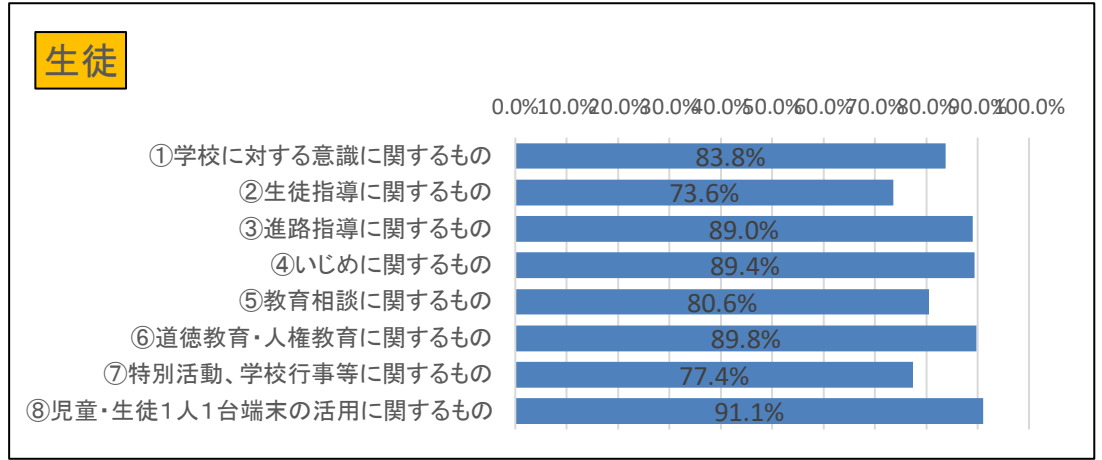
<教職員用集計>		割合					肯定的割合	
合計		①よくあてはまる	②ややあてはまる	③あまりあてはまらない	④全くあてはまらない	⑤判断できない、よくわからない	①+②	
①	1 本校の教育課題について、教職員で日常的によく話し合っている。	24.4%	53.7%	19.5%	0.0%	2.4%	78.0%	
①	2 各年度の教育計画の作成に当たって、教職員がよく話し合っている。	17.1%	41.5%	34.1%	0.0%	7.3%	58.5%	
①	3 ホームルーム活動を主とした学級経営の改善に、学級や学年、学校全体で取り組んでいる。	24.4%	61.0%	7.3%	0.0%	85.4%	85.4%	
①	4 教職員間での生徒に関する情報共有ができてきている。	41.5%	51.2%	4.9%	0.0%	2.4%	92.7%	92.7%
①	5 教職員間での校務(授業も含む)に関する情報共有ができてきている。	24.4%	61.0%	14.6%	0.0%	0.0%	85.4%	85.4%
①	6 個人情報保護の観点から、生徒の個人情報に関する管理システムが確立している。	29.3%	48.8%	7.3%	0.0%	14.6%	78.0%	78.0%
①	7 事故・事件等に迅速・適切に対応できよう、組織化されている。	24.4%	61.0%	9.8%	0.0%	4.9%	85.4%	85.4%
①	8 施設・設備について日常的に点検や管理が行われている。	24.4%	48.8%	19.5%	0.0%	7.3%	73.2%	73.2%
②	9 本校の教育活動には、生徒や保護者のニーズにあった特色がある。	19.5%	46.3%	17.1%	2.4%	14.6%	65.9%	65.9%
②	10 本校は、教育活動全般について、生徒や保護者の願いをよくこたえている。	26.8%	48.8%	7.3%	0.0%	17.1%	75.6%	75.6%
②	11 各教科において、教材の精選・工夫を行っている。	32.5%	57.5%	7.5%	0.0%	2.5%	90.0%	90.0%
②	12 生徒の実態をふまえ、問題解決型の学習やグループ学習を行うなど、指導方法の工夫を行っている。	25.0%	55.0%	12.5%	0.0%	7.5%	80.0%	80.0%
②	13 ICT機器や校務処理システムの活用により校務の効率を高めることができてきている。	40.0%	45.0%	5.0%	0.0%	10.0%	85.0%	85.0%
②	14 到達度の低い生徒への学習指導を、全般的課題として取り組んでいる。	17.5%	32.5%	42.5%	2.5%	5.0%	50.0%	50.0%
②	15 学習意欲の高い生徒に対する学習指導を、個に応じた視点で工夫して行っている。	20.0%	50.0%	22.5%	0.0%	7.5%	70.0%	70.0%
②	16 コンピュータ等のICT機器が、各教科の授業などで活用されている。	40.0%	50.0%	5.0%	0.0%	5.0%	90.0%	90.0%
②	17 教員の間で、授業方法を研究する機会を、積極的に持っている。	22.5%	32.5%	30.0%	0.0%	15.0%	55.0%	55.0%
②	18 教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	17.5%	40.0%	17.5%	2.5%	22.5%	57.5%	57.5%
③	19 本校では、カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導を行っている。	20.0%	57.5%	12.5%	0.0%	10.0%	77.5%	77.5%
④	20 生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい情報提供を行っている。	22.5%	65.0%	5.0%	0.0%	7.5%	87.5%	87.5%
⑤	21 いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	35.0%	60.0%	0.0%	0.0%	5.0%	95.0%	95.0%
⑥	22 人権尊重に関するさまざまな課題や指導方法について、全教職員で話し合っている。	15.0%	55.0%	20.0%	0.0%	10.0%	70.0%	70.0%
⑥	23 教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教員とも相談することができる。	30.0%	57.5%	10.0%	0.0%	2.5%	87.5%	87.5%
⑥	24 学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	42.5%	47.5%	5.0%	0.0%	5.0%	90.0%	90.0%
⑦	25 学校として、部活動の活性化について工夫している。	15.0%	27.5%	40.0%	7.5%	10.0%	42.5%	42.5%
⑧	26 教育活動に必要な情報について、生徒・保護者や地域への周知に努めている。	32.5%	45.0%	15.0%	0.0%	7.5%	77.5%	77.5%
⑨	27 学校は1人1台端末を効果的に活用している。	42.5%	52.5%	2.5%	0.0%	2.5%	95.0%	95.0%



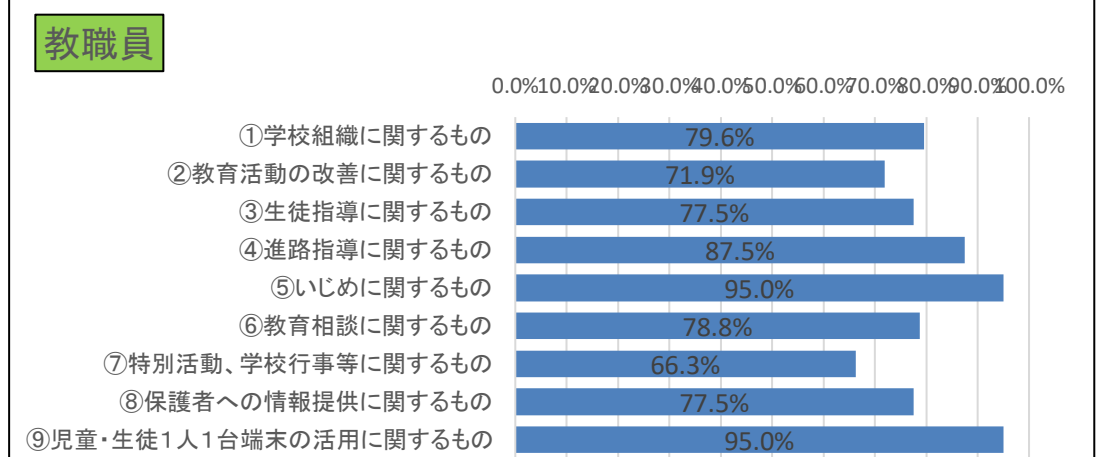
<保護者>		肯定
①	①学校に対する意識に関するもの	74.3%
②	②学習指導に関するもの	63.9%
③	③生徒指導、児童・生徒理解に関するもの	73.4%
④	④進路指導に関するもの	70.5%
⑤	⑤いじめに関するもの	40.1%
⑥	⑥道徳教育・人権教育に関するもの	61.6%
⑦	⑦情報提供に関するもの	73.7%
⑧	⑧学校教育への参画に関するもの	53.4%
⑨	⑨児童・生徒1人1台端末の活用に関するもの	73.5%



<生徒>		肯定
①	①学校に対する意識に関するもの	83.8%
②	②生徒指導に関するもの	73.6%
③	③進路指導に関するもの	89.0%
④	④いじめに関するもの	89.4%
⑤	⑤教育相談に関するもの	80.6%
⑥	⑥道徳教育・人権教育に関するもの	89.8%
⑦	⑦特別活動・学校行事等に関するもの	77.4%
⑧	⑧児童・生徒1人1台端末の活用に関するもの	91.1%



<教職員>		肯定
①	①学校組織に関するもの	79.6%
②	②教育活動の改善に関するもの	71.9%
③	③生徒指導に関するもの	77.5%
④	④進路指導に関するもの	87.5%
⑤	⑤いじめに関するもの	95.0%
⑥	⑥教育相談に関するもの	78.8%
⑦	⑦特別活動・学校行事等に関するもの	66.3%
⑧	⑧保護者への情報提供に関するもの	77.5%
⑨	⑨児童・生徒1人1台端末の活用に関するもの	95.0%



### 結果と分析

#### 保護者に関して

・13項目中6項目において、昨年度より肯定的な回答ポイントを上昇させている。  
上昇させた主な項目は、進路関係[④]学校は、将来の進路や職業について適切な指導を行っている:70.6→75.7][⑥]学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に、きめ細かく行っている:76.4→78.0][⑧]学校は、進路に関して、家庭への連絡や適切な情報提供を行っている:64.1→65.2]、学校への参加[⑩]学校の授業参観や学校行事に参加したことがある:44.2→53.4]等である。特に進路に関しては、各学年の進路行事、貝南サマツの年間通じての実施等、学校より保護者への発信が多くなったことが要因であると考えられる。  
・[⑨]学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる:35.3→40.1]について、肯定的な回答ポイントは昨年度より上昇し、生徒や担任を通じ、本校の取り組みが保護者に少しずつではあるが理解されてきたことが要因と思われる。  
・[③]子どもは、授業がわかりやすいと言っているの肯定的な回答ポイントは71.8→54.8と下降している。授業の軸をどこに置くかでこの数値は変化すると考えられるが、今後、授業の相互観察や教科会議等のあり方を含め、学校として生徒に関して  
・21項目中10項目において、昨年度より肯定的な回答ポイントを上昇させている。  
その中でも顕著に上昇させた項目は、[⑦]学習の評価は、テストの点だけでなく、努力や授業に取り組む姿勢等をふくめて行われている:86.1→90.7][⑩]ホームルーム活動等のクラス活動は活発で、よくクラス全体で取り組んでいる:85.4→90.0]等である。要因は、⑦については観点別評価の定着、⑩文化祭・体育祭や貝南サマツ等生徒参加型の行事の活性化であると考えられる。  
・[⑫]先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる:86.2→89.4][⑬]先生は、悩みごとや相談ごとを聞いてくれる:86.5→89.9][⑭]担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる:68.6→71.1]等、肯定的な数値が上昇しており、生徒と教員との関係が昨年度に増進してきていることが伺える。  
・昨年度に比べ肯定的な通知が下がった項目は[②]授業はわかりやすい:82.3→78.4]である。これは、保護者同様の傾向で、今後の対策を考えていく。  
・[⑲]図書館の図書などを利用する:22.8→25.4]の項目も固定的な数値が上昇しており、これは担当の生徒への図書教職員に関して  
・27項目中18項目において、昨年度より肯定的な回答ポイントを上昇させている。(昨年度は9項目)  
上昇させた主な項目は[4]5の生徒に関する情報共有の数値、[7][19][21]の生徒へ寄り添う姿勢の数値が大きく上昇している。年間を通して、生徒の個々に係る会議が多く、状況共有の場を持ったことが要因である。  
・肯定的な回答が数値が下がったのは、[14]到達度の低い生徒への学習指導を、全般的課題として取り組んでいる:53.0→48.0]の項目で、生徒と保護者の結果とも合致しており、研修等を実施し、学校として取り組んでいる。  
**全体として**  
○今年度の診断結果より、生徒・保護者と学校との良好な関係が多く見られ、総合的に信頼される学校づくりが進行している。今後も生徒、保護者、地域のニーズを把握するとともに、国や府の動向を踏まえ、改善・改革を繰り返し、更なる学校力の向上に努めたい。



Table with 6 columns: Item, Year, and five response categories (① to ⑤) for '保護者用集計' (Parent Survey).

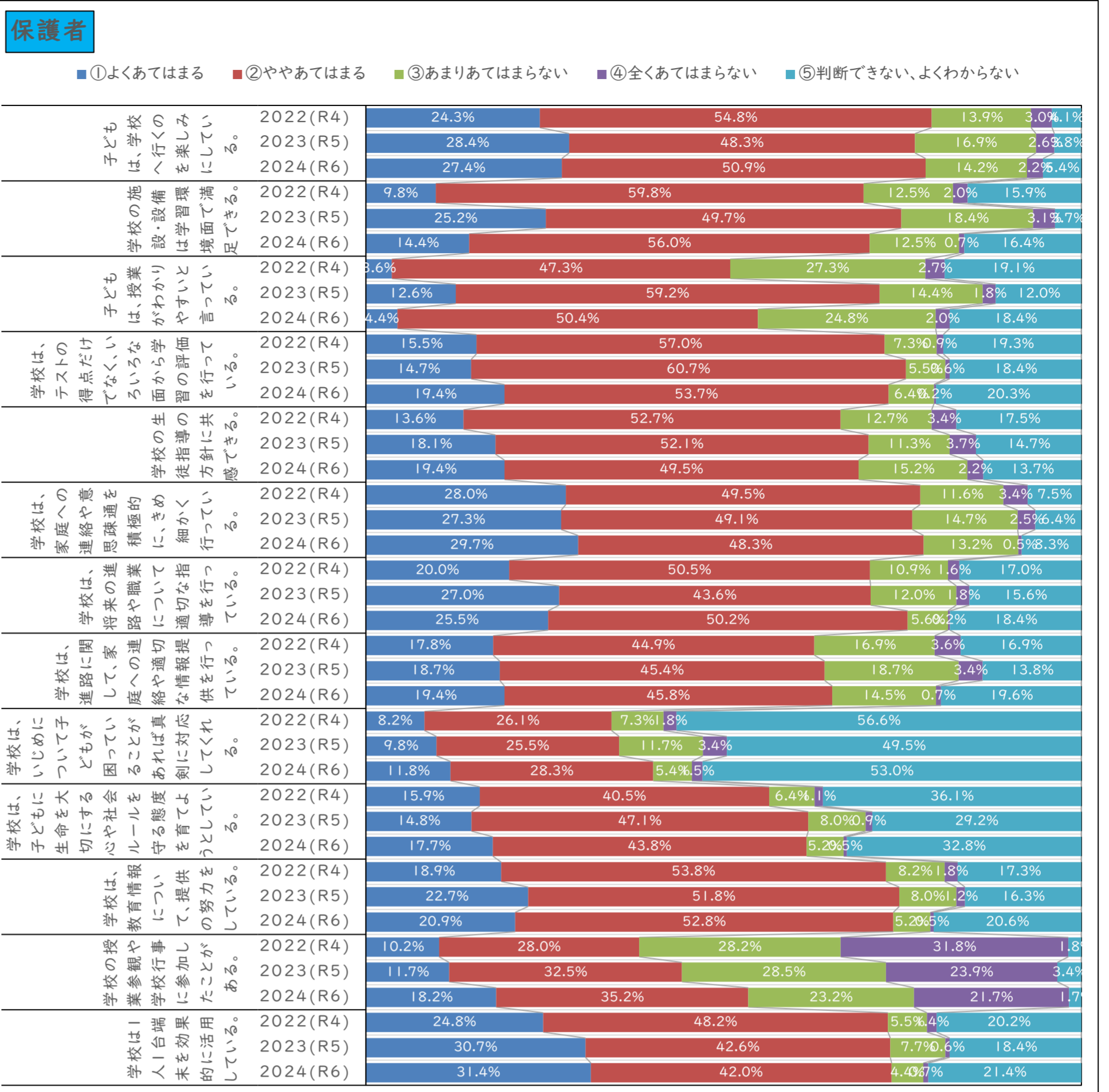


Table with 6 columns: Item, Year, and five response categories (① to ⑤) for '生徒用集計' (Student Survey).

